

## 1.事業の目標

### 《人口減少時代の“九州共通の地域課題”解決のための中長期的な事業目標》

公益財団法人佐賀未来創造基金は官民協働の一翼を担う「コミュニティ財団」として地域課題解決への取組みを進めていくなかで、休眠預金を活用することにより、“九州共通の地域課題”のうち佐賀においても解決が急務な課題である「遊休資源の増加」「子ども・若者の社会的孤立」「災害対策」という九州の各地域に共通した諸課題について解決モデルを創出し、SDGsの達成目標年でもある2030年までに九州全土に波及させていくことを目指します。

社会的包摂を目標とするコレクティブインパクト型事業の創出と拡大

人口減少に伴う多様な地域課題  
コミュニティ×担い手×安心安全 → SDGs 誰一人取り残さない  
持続可能な地域社会

多様な主体との連携

九州全土へ拡大

## 2.実行団体の募集概要……………募集要項P5

### 《募集团体の数》

4団体～6団体程度

### 《公募期間》

2019年12月9日

～2020年1月31日17時まで

### 《1実行団体あたりの助成金額》

原則3年間で1,000万円～2,000万円（但し、20%の自己負担を必須とする）

### 《募集分野》

- ①子どもの社会的孤立対策のための地域連携事業
- ②地域でのエリアマネジメント及び遊休不動産活用事業
- ③地域レベルでの災害対応及び防災の仕組みづくり
- ④その他の本事業に必要なだと認められる事業

### 《事業期間》

契約締結日から2023年3月31日まで

### 《対象団体》

佐賀県内の公益的な活動を行うCSO等の団体

詳しくは募集要項6ページの「5.申請資格要件」を参照してください。

※3者以上の事業者が関わるコレクティブインパクト型の事業を優先します。

### 《申請の流れ・必要書類》

募集要項の9ページからの「8.申請の手続き」を参照ください。

### 《選定方法と結果通知》

申請後に面談、必要であれば現地調査を行い、最終的には弊団体の理事会で決定します。

審査の結果は文書またはメールにて通知いたします。

詳しくは募集要項の13～15ページの「10.選定の流れ」「11.選定時の審査項目」「12.審査結果の通知と公開」を参照ください。



### 3.選定後について.....募集要項P14～

#### 《事業の進捗管理と年度報告》

実行団体は、資金提供契約に基づき、6ヶ月ごとに活動の進捗および総事業費の使用状況について、各事業年度が終了するごとに事業の収支を、JANPIAの休眠預金助成システムを使用して報告します。

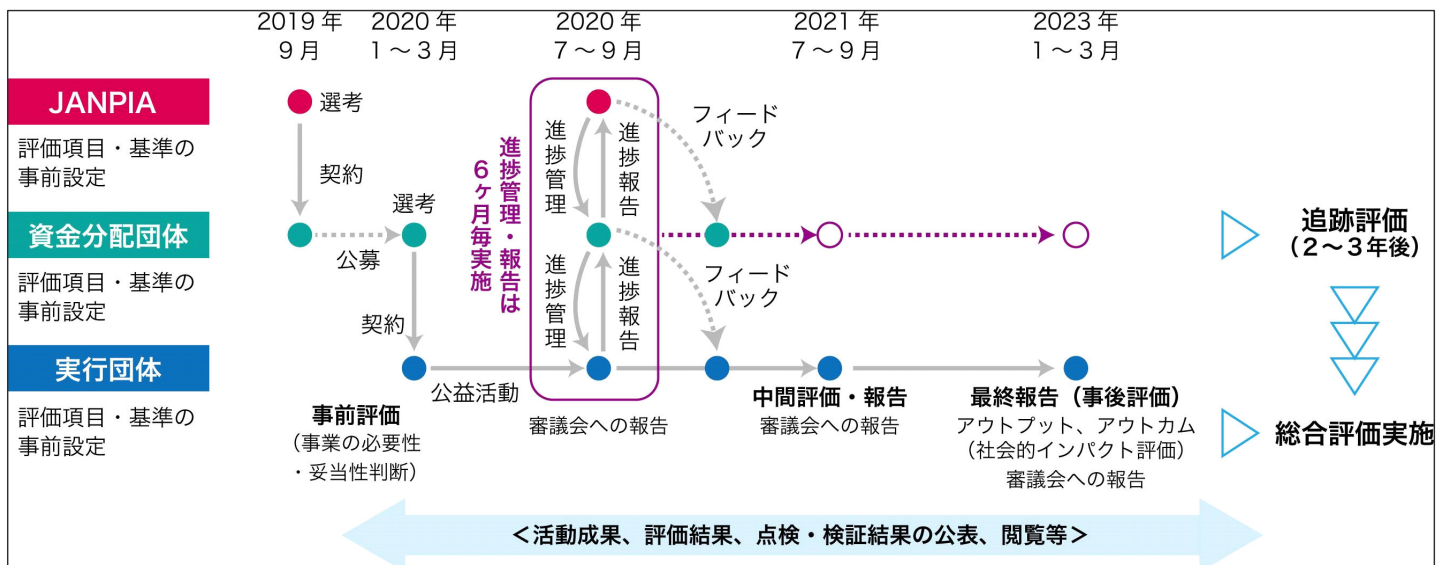
加えて、事業の進捗状況を把握するための協議を、インターネットを通じた遠隔会議やテレビ会議システムを含む対面形式で毎月1回以上行います。

詳しくは公募概要14ページ「13.選定後について」を参照ください。

資金提供契約については公募概要20ページの「24.資金提供契約」を参照ください。

#### 《事業完了報告》

助成事業終了日から2週間以内に、休眠預金助成システムを使用して弊団体に事業完了報告書を提出します。



### 4.事業の評価.....募集要項P16～

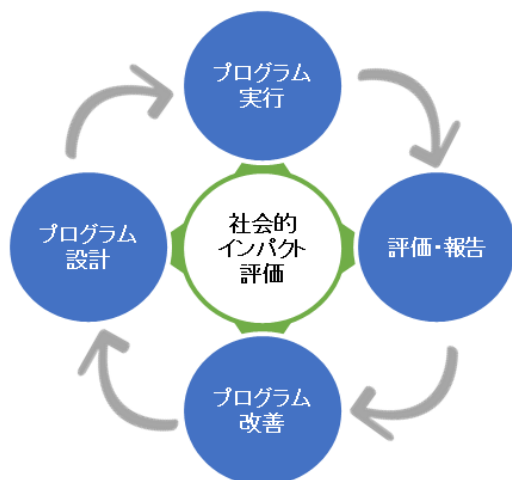
#### 《社会的インパクト評価の活用》

休眠預金等活用事業は、国民の資産である休眠預金等を活用しているという性質上、その活用の成果を適切に評価し、国民に明らかにすることが求められています。

「資金分配団体・実行団体に向けての評価指針」に基づき、評価の客観性や正当性を確保する前提のもと、社会的インパクト評価を行っていただきます。評価の主体は、評価の客観性や正当性を確保するという前提の下、自己評価を基本とします。

弊団体やJANPIAは、実行団体において評価の実務経験が少ないなど、必要な場合には各実行団体の自己評価を伴走支援します。

また、民間公益活動のうち、大規模なもの、重要なものや国民的関心が高いもの等については、外部評価や第三者評価を行うことにより、評価の信頼性および客観性を確保することとします。なお、実施内容や実施時期については、実行団体、弊団体、JANPIA間で協議の上決定します。



#### 実践知の蓄積・知の構造化

- ◇シンポジウムの開催
- ◇地域での報告会の開催
- ◇コレクティブインパクトを意識した知見共有